

研究者リーダーシップ・プログラム

「第4回キャリアアップのためのアクションプラン-Step1」参加レポート

このたび、第4回キャリアアップのためのアクションプラン-Step1に参加させていただきました。講演の中で特に印象的だったのは、自分がこれまで行ってきたのが「フォアキャストイング」であったことを再確認すると同時に、「バックキャストイング」が自分の可能性を広げるための有効な手法であると実感した点です。また、現状とアクションプランを言語化・文章化する過程を通じて、自分を振り返る機会となるとともに、客観的な評価を行う貴重な時間となりました。

講演の合間や最後には、自分で作成した現状とアクションプランをブレイクアウトルームで他の参加者に説明する機会もありました。初対面の方々に自分を紹介し、自分のプランを説明することは、自分の考えをより明確にする助けとなりました。また、自分が話すだけでなく、同じブレイクアウトルームに参加した方々の強みやアクションプランを聞くことも非常に勉強になりました。特に、誰もが少なくとも一つの強みを持っているという促しの中で、自分の強みやアクションプランを語る姿を見ると、そうした会話が新たな発見や刺激を生み、きっかけを提供していると感じました。

人との対話が、自分でも気づいていなかった強みを認識するきっかけとなり、新たな方向性を得る機会を提供してくれるということを改めて実感しました。また、研究分野や所属機関が異なる（大学・企業など）多様な人々との交流は非常に貴重な体験となり、大きな学びが得られました。このような機会を提供していただき、誠にありがとうございました。

（竹田育子・名古屋大学大学院医学系研究科 講師）